

建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会
令和元年前期定例(福井)会議 報告

長瀬 八州余

会議次第の通り進み

8. 報告事項

①各県の活動計画

愛知県：愛知県内の建物の事を知らないなので、県内建築物の見学会を碧南方面で計画。

住まいの絵本を使用し住教育をおこなう予定。

石川県：見学会は福祉の高齢者に関する建物を見学会を計画。

三重県：続けているお茶室の見学会で今回は登録文化財のお茶室です。

今までの勉強会は CAD の講習と手書きパース教室でしたが、今年は UD 講習会と法令の勉強会を計画。

富山県：空き家・既存のリノベーションの勉強会を計画。

福井県：平成 24 年から続けている住教育を続けて行く。

岐阜県：今年は委員会開催場所を各支部受け持ちで回していく予定と話しました。

②連合会女性委員会の報告

今年の全建女での分科会で F 分科会「子どもと住環境」を福井県と和歌山県が G 分科会「高齢者と住まい」を岐阜県が発表という報告。

⑤青年建築士協議会の報告では協議事項での内容にもなったのですが、この会に参加しても議決権があるわけでもなく、居ても居なくてもよい状態で、歴代の運営委員長に聞いても、参加の必要性を感じていないということなので、無理に参加する必要はないとほんだんする。後期ブロックが青年と合同だと意見のすりあわせが必要なので、参加しないとイケないが、そうでない場合は無しにしたいということでした。

青年の方もどちらでも良いですという返事でした。

9. 審議事項

各審議が承認されましたが、④役員承認のところでは議決権があるのは運営委員長、運営副委員長、運営委員、監事の 13 名で、連合会出向・相談役と協議会事務局は議決権がないということをお話されました。再確認をしました。

10.協議事項

①令和元年度ブロック大会（愛知県）・30 周年事業について（配布資料参照）

・ワークショップ

30年間の資料をまとめていく中で女性委員会は今問題になっている、高齢者問題や空き家問題をいち早く取り上げて、問題提起をしてきている。

今回ワークショップをするにあたり、今問題になっているものをやるのではなく、まだ社会に出てきていない問題をワークショップで見つけてそれをテーマにして、これからのブロックの分科会で掘り下げていきたいと愛知県からの提案がありました。

テーマを決められると、分科会がやりにくいのではないかという意見が他県から出たが、テーマに沿って、その県の特色が出てくれば良いので、あまり固く考えることもないのではないかということになりました。

・30周年記念誌

予算から各県100部までは作製できるが、実際何部必要か連絡が欲しい。

②女性建築士協議会運営について

②-1 青年建築士協議会への出席について

必要な時は出席するが、必要のないときは欠席でOKということに決まりました。

②-2 運用マニュアルの変更について

②-1の変更に伴う変更

②-3 全建女のコメンテーターの助成金

今回 福井県と岐阜県に15,000円ずつ助成する

②-4 周年事業積み立てにつて

30周年用に6年間3万円で合計18万円積んできたので、40周年に向けて2万円×10年間で合計20万円を積んでいく

③その他

③-1 令和元年度全建女交流会1×1発表

東海北陸ブロック会からは三重県がおこなう

③-2 令和4年度全建女開催について

・石川県ありきではなく、各県が持ち帰り返答をするということでした。

・福井県、三重県、富山県とも人材と体力がないということで、辞退したいとの返答でした。

・石川県としては腹を括り、何ができて何ができないかを協議して、4項目の議題を連合会に提出したとのことでした。

1, 役割分担表をいただいたが、ファジーな部分は連合会でやって欲しい。

2, 石川県だけでは人材が少ないので、東海北陸ブロックで協力して欲しいが、交通費等の問題もあるので、主に富山県、福井県に準備段階からお手伝いをお願いする事になると思う。

- 3、金沢市内では、検討した結果会場が2ヶ所ぐらいしかなく、会場の予約が取れない。
 - 4、エキスカージョンまでは、手が回らないので、開催しない。
提案はできるので、計画はするが、個人で回って欲しい。
- ・まだ少し時間があるので、皆で検討をしていくことになった。